

## 東山道公園（太田市）

ここは東山道公園/前方に説明板が立っている



標柱には「新田町指定史跡 推定東山道駅路」とある

[video](#)



東山道駅路は、古代（およそ1,300年～1,000年前）に奈良の都と東国とをつなぐ官道として整備された

## 新田町指定史跡

# 推定東山道駅路

指定 平成九年三月二十二日  
所在地 新田町大字市野井下原宿遺跡

東山道駅路は古代（飛鳥時代・七世紀後半ごろ）に国家が整備した道で、奈良の都と東国を結んでいた幹線道路です。当時は主に軍事・税務等の役人の往来に使われたと考えられます。この道は群馬県内を東西に横断しており、現在までのところ新田町から境町まで延長八キロメートル以上にわたって一直線に造られたことがわかっています。

東山道公園内で発見された駅路は幅十二メートルで両側に側溝を持つ大規模な遺構で、公園用地内には約二百五十メートルが保存されています。

この道路は周辺の調査から、約百年の間使用されたことがわかっていています。その後八世紀後半にはルートの変更に伴い別の道路が造られたと考えられていますが、現在のところまだ発見されていません。

新田町ではこの他に武蔵国府（現在の東京都府中市）へ行く道路（東山道武蔵路）との分岐点である新田駅家があったと考えられ、これと共に地域の歴史を考えるうえで重要な遺跡です。

平成十一年三月 新田町教育委員会



群馬県内の東山道駅路



の位置



発掘された東山道駅路（新田町大字市野井下原宿遺跡）

この一直線の部分が東山道駅路の遺構/保存されている



少し前方に進んで見たところ/群馬県の南部を東西に通過している/このエリアは「牛堀・矢ノ原ルート」と命名されている



振り返って見たところ/7世紀後半頃に造られ、8世紀中頃には使われなくなったと考えられている

[video](#)



参考ホームページ

<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/nittabunka48.html>

<https://beccan.blog.fc2.com/blog-entry-3141.html>

<https://nihonshiseki.hatenablog.com/entry/2019/09/17/145407>

